

令和7年度 第5回普及啓発講演会報告書

1. 日 時：令和7年12月10日（水）13時40分～14時40分
2. 場 所：デイサービスセンターHIVE（訪問看護ステーションお結び）
3. 演 題：①人生会議 ②もしバナゲーム
4. 講 師：門司在宅医療・介護連携支援センター 鶴 智子
5. 参加者：地域住民9名、介護・福祉関係者8名
他：もしバナゲームファシリテーター（小倉センター2名、戸畑センター1名、若松センター2名）

6. アンケート結果（回収14名）

- （1）性別：男性（2名）、女性（11名）未回答1名
- （2）年代：60代（1名）、70代（2名）、80代（3名）、90代（1名）
50代（3名）、40代（2名）、20代（1名）未回答（1名）
- （3）一人暮らし（2名）、配偶者と二人暮らし（3名）、子供と同居（5名）、
その他（2名）、未回答（2名）
- （4）本日の内容について
わかりやすかった（13名）、いくらかわかりやすかった（0）、未回答（1名）

【理由】

- ・講義の内容だけでなく、カードを使用してのゲームも自分の今後の気持ちの再確認になった。
- ・興味を持てたので理解につながったと思う。
- ・ゆっくりとした話し方であり、聞き取りやすかった。
- ・実際の事例や他者の考えを聞いて考えやすかったです。
- ・終活などエンディングノートは知っていたが、人生会議のことは知らなかったなので勉強になった。



- （5）あなたは、これからの治療やケアについて身近な人と話し合い、自分の気持ちを誰かに伝えておきたいと思いますか？

はい（12名）、いいえ（0名）、わからない（1名）、未回答（1名）

【理由】

- ・家族の負担を軽減するため。 ・まだ死について考えたことがない。
- ・まだ死ぬ気がしないので、もう少し衰えたらしようと思う。
- ・家族ともっと話し合いが必要で、共有しようと思った。
- ・自身が自分の責任で決断した最期を迎えたいから。また、母の望む最期を迎えてもらいたいから。

- （6）もしバナゲームはいかがでしたか？

- ・初めてでしたがとても良かったです。両親が亡くなっていたので思い出して涙しました。
- ・ぼんやりしたことしか考えたことがなかったのでこれからいろいろ考えたい。